

コード	205030103
記入日	H25.6.20

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江 英生
担当者	吉田 孝弘

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	消防団分団運営費補助事業
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	2
事務事業コード	2050301	事務事業名称	消防団事業費	細目コード	936
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町消防団		(対象指標1) 56分団 936名 (平成24年4月1日現在)				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・町消防団地区分団への運営費補助を交付した。 →補助金 3,732千円、933名分	***** 運営費補助金交付	***** 1回	***** 100%	***** 補助金交付回数÷ 補助金予定回数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	年に1回、全分団に団員数を基礎に補助金を支出した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・消防団の地区分団が自主的な消防団活動や施設・車輛・機械等の整備管理の向上を目的とするような分団の運営に関する補助を目的としている。	***** 防火対応日数	***** 365日	***** 100%	***** 防火対応日数÷ 年間日数365日	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	消防団の地区分団が自主的な消防団活動や施設・車輛・機械等の整備管理を行い、緊急事態に対応できた。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	8	8	7	1	1				
	②									
成果指標	① 日	365	365	365	365	365				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	37,284	37,216	32,784	4,500	4,432				
直接事業費 A	千円	31,684	31,616	27,884	3,800	3,732				
人件費 B	千円	5,600	5,600	4,900	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.8	0.8	0.7	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	37,284	37,216	32,784	4,500	4,432				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	町民の身体及び財産を各種災害から守る地区分団活動を低下させないためにも必要である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	消防団本部が計画し、予算に反映している活動以外にも、分団が必要と思う活動を展開している。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理 由	消防団員の人員確保が必要である。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	消防団本部が計画し、予算に反映している活動以外にも、分団が必要と思う活動を展開している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理 由	水火災及び地震等の災害に対応するためには、現在の消防団活動を低下することはできない。分団の活動が低迷し、消防団活動の活性化に支障をきたす。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	消防団員確保のために、広報誌の掲載や地区（総会等）での呼びかけを実施する必要がある。
	今後、課題に向けた改善策	新入団員確保の促進を図る。

2 次 評 価	円滑な消防・防災体制の維持及び地区分団の維持運営に努めるとともに災害に対応するためにも消防団活動を低下させないよう消防団員の確保に努めること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。